

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2017-86883(P2017-86883A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-199949(P2016-199949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月16日(2017.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立により取得された遊技情報に基づいて、特別遊技を実行するか否かの特別遊技判定を行う特別遊技判定手段と、

前記遊技情報を記憶可能な記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された遊技情報に基づく前記特別遊技判定が行われる前に、特別遊技を行うか否かの事前判定を行う事前判定手段と、

表示手段と音を出力する音響出力手段とを用いた演出を実行する演出制御手段とを備え、

前記演出制御手段は、

前記記憶手段に記憶された遊技情報に対応する保留図柄を前記表示手段に表示可能であるとともに、前記事前判定の結果に基づいて、特別遊技が行われる可能性が高いことを示唆する第1表示態様で前記保留図柄を表示可能であり、

前記事前判定の結果に基づいて、特別遊技が行われる可能性が高いことを示唆する第1の音または前記第1の音とは異なる第2の音を前記音響出力手段から出力可能であり、

前記第1の音を出力する場合、前記保留図柄を前記第1表示態様とは異なる第2表示態様で表示可能にし、

前記第2の音を出力する場合、前記保留図柄を前記第2表示態様で表示せず、

前記保留図柄が前記第2表示態様で表示されて前記第1の音が出力されたとき、当該保留図柄に対応される遊技情報に基づく前記特別遊技判定が行われた後に、当該保留図柄の表示態様が前記第2表示態様から前記第1表示態様に変更される場合と、当該保留図柄に対応される遊技情報に基づく前記特別遊技判定が行われる前に、当該保留図柄の表示態様が前記第2表示態様から前記第1表示態様に変更される場合とがある、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図31

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 1】

